

施策9 文化芸術の振興

施策の目的

- 文化芸術情報を効果的に発信し、文化芸術に触れ楽しむ場や機会を充実させます。
- 文化芸術活動を支援し、文化芸術が息づくまちを実現します。
- 文化財を適切に保存、保護し、次世代に引き継ぎます。

これまでの主な取組

- 市民や企業等による文化芸術のまちづくり協議会を設置し、文化芸術を支援しました。
- 公益財団法人立川市地域文化振興財団を通じて、ステージ事業やワークショップ等さまざまな文化振興事業を行いました。
- ファーレ立川アートや音楽の鑑賞教室等を実施し、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供しました。
- 国立音楽大学と協定を締結し、文化芸術に関する事業を通じて、地域の文化振興に寄与しました。
- たちかわ楽市や立川よいと祭りを支援し、まちのにぎわいにつなげました。
- 子ども未来センターの開設、たましんRISURUホール(市民会館)のリニューアルオープンを通じて文化拠点の形成を図りました。
- 郷土に対する認識と理解を深めるために、講座等を開催し意識啓発に努めました。
- 重要文化財の指定を行い、市民の財産として保存し、継承に努めました。
- 指定文化財を適切に保存・保護するため、文化財所有者等に支援を行いました。

現状と課題

- 市民主体の文化芸術活動をまちの活性化につなげ、シティプロモーションにも生かしていくことが必要です。
- 子ども未来センターやたましんRISURUホール(市民会館)など、文化施設の有効活用が求められています。
- 文化財の経年劣化に対応した保存事業の継続や、所有者の相続等に伴う維持管理が課題となっています。
- 「立川市史」は刊行後45年余りが経過しており、まちの変遷や学術的な発見などの記録を更新し、情報提供に努めることが必要です。

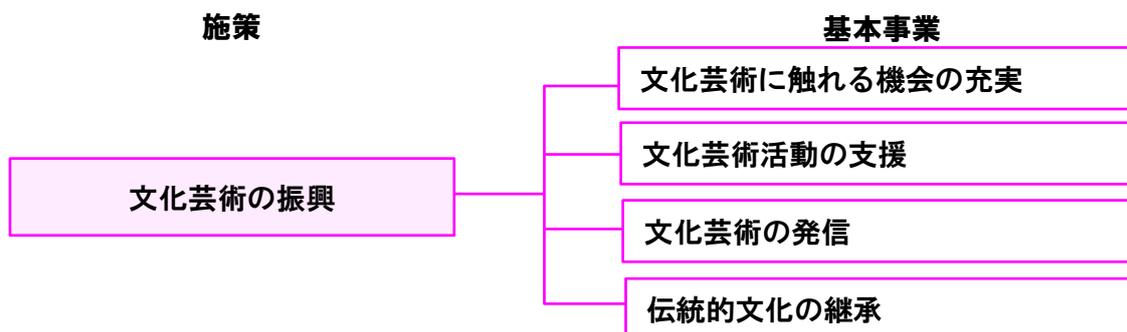


ファーレ立川アート作品
【ジャン・ピエール・レイノー作
「オープン・カフェテラス」】



ファーレ立川アート作品
【サンデー・ジャック・アクパン作
「オブジェ(見知らぬ人)」】

施策の体系



施策の基本方針

文化芸術に触れる機会の充実

- たましん RISURU ホール（市民会館）やアィムホール、地域学習館等においてコンサート等を開催し、文化芸術に身近に触れることのできる機会を提供します。
- 「まち全体が美術館」構想を継続し、アートを身近に感じられるまちをつくります。
- アート鑑賞やワークショップにより、子どもの感性を育てます。

文化芸術活動の支援

- 立川いったい音楽まつり¹やたちかわ楽市等のイベントを通じて、文化芸術活動の充実を図ります。
- 公益財団法人立川市地域文化振興財団と連携して、地域での文化芸術活動を支援します。
- 立川文化芸術のまちづくり協議会を通じて、文化芸術の育つ環境づくりを進めます。

文化芸術の発信

- ファーレ立川アートを維持保全するとともに、広く発信します。
- シティプロモーションの一環として、地域の特性に応じた特色ある文化や市民の文化芸術活動を発信し、広域的な交流を推進します。

伝統的文化の継承

- 文化財を適切に保存し、保護します。また、維持管理に対する助言や支援を行い、次世代に継承します。
- 教育機関等との連携により、子どもたちが郷土の伝統を学ぶ機会を確保し、伝統文化の継承を図ります。
- 本市の歴史の変遷を明らかにし、学術的な発見や成果を体系的に整理するために、新たな立川市史の編さんを進めます。

¹ 立川いったい音楽まつり

市内の広場・店舗等の協力を得て、店頭等で一斉ライブを行うことで、まち一帯（いったい）に音楽が溢れ、まち全体がにぎわい、そして出演者・観客が一体（いったい）となって作りあげていくイベント。平成24年5月に第1回が開催された。

施策 24 広域的な魅力の創出と発信

施策の目的

- 広域的な中核拠点²として、立川駅周辺地域の魅力と回遊性を高めます。
- 地域資源を生かしたにぎわいの創出を図ります。
- シティプロモーションを通じて立川市の魅力や価値を発信し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図ります。

これまでの主な取組

- 立川駅周辺地域において花かざりやイルミネーション等のイベントを支援し、にぎわい創出とおもてなしに努めました。
- 立川駅周辺地域の基盤整備等を通じて、事業所などの集積を推進しました。
- 都市軸沿道地域企業誘致条例を定め、事業者の進出を促進しました。
- 地域の関係団体で構成する横断的組織を通じて、箱根駅伝予選会などの大規模イベント等を迎え入れ、にぎわいを創出しました。
- イベントや市政情報を発信する際に、立川市公式キャラクター「くるりん」を活用し、立川の魅力を紹介しました。

現状と課題

- まちのにぎわいを維持・向上していくために、立川市の魅力をさらに高め発信し、交流人口を増加させることが求められています。
- 立川駅周辺地域の回遊性を向上することが課題となっています。
- 労働力人口の減少が予測されているため、立川市の地域資源を活用した事業所の集積が求められています。
- 新たに進出する事業者と既存事業者の共存・共栄が求められています。
- 立川市公式キャラクター「くるりん」はイベント等での活躍の場が増え、市域での認知度は向上していますが、市域を越えたシティプロモーションと民間活用の推進が課題となっています。

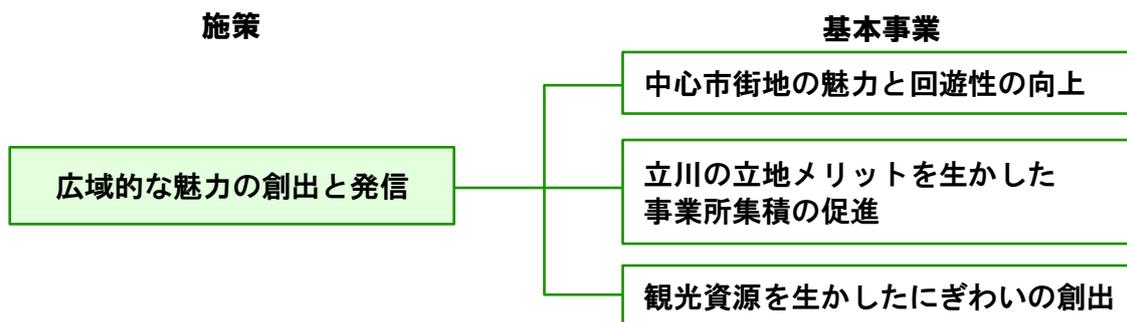


立川まつり 国営昭和記念公園
花火大会

² 中核拠点

交通利便性などを生かした業務・ビジネス、商業、文化、飲食サービスなど高度な機能集積により、東京圏の都市活力や都市文化をリードする拠点。本市では、立川駅周辺地域のこと。

施策の体系



施策の基本方針

中心市街地の魅力と回遊性の向上

- 商業・業務機能等との連携により、回遊性を高め、魅力ある都市空間を形成します。
- 立川駅周辺地域の都市機能を活用して、集客力の維持・向上を進めます。
- 立川駅周辺地域や都市軸沿道地域で行われる魅力あるイベントを支援します。

立川の立地メリットを生かした事業所集積の促進

- 地域経済活性化のため、まちの魅力や価値を発信し、事業所集積を図ります。
- 新たに進出した事業者と地元の経済団体や既存の中小事業者との連携・協働を支援します。

観光資源を生かしたにぎわいの創出

- 多様な視点を取り入れたシティプロモーションを展開し、立川市の魅力や価値を広く発信します。
- ウェルカム立川委員会などと連携し、箱根駅伝予選会の継続実施など、集客力のある大規模イベントの誘致に取り組みます。
- 立川市公式キャラクター「くるりん」等を活用して、立川市の認知度向上を図ります。
- 国営昭和記念公園や国の研究機関など既存の観光資源を活用して、にぎわいの創出を図ります。
- 立川観光協会などと連携し、新たな観光資源の発掘に取り組みます。



立川市公式キャラクター「くるりん」